

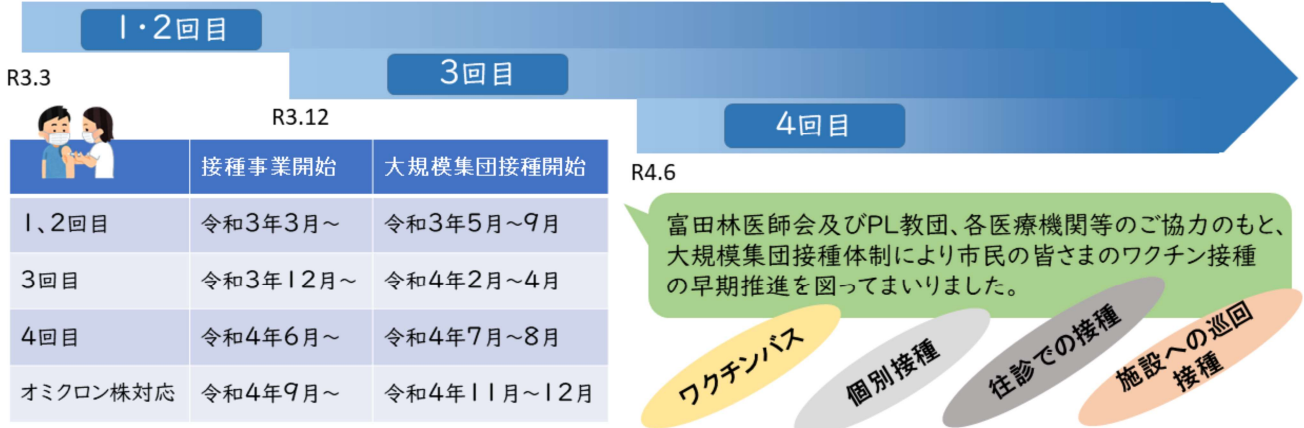
# 新型コロナウイルスワクチン集団接種



**事業実施の緊急性** 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界規模パンデミックに対応する」  
 「新型コロナウイルスから市民の生命や生活を守る」  
 「そのため、出来るだけ早期にワクチン接種を推進する」



## 本市のワクチン接種事業の経過



2019年に中国武漢市で発見された新型コロナウイルスによる感染症(COVID-19)は瞬く間に世界規模のパンデミックに拡大し、多くの人々が死亡に至ったもので、この感染予防にも一定対応する新型コロナウイルスワクチン(ファイザー社製及び武田/モデルナ社製)を出来るだけ早期に市民の皆さまに接種いただくことは、感染症対応として国民・市民の生命はもちろん、その方や周りの方々の生活を守るためにも、ワクチン接種事業は緊急性かつ最重要事業です。

本市では、富田林医師会のご尽力のもと、またパーフェクトリバティ教団のご厚意により昨年5月よりPL錬成会館をお借りして大規模集団接種体制を基本にワクチン接種の推進を図ってまいりました。広大な会場や駐車場等により時間当たり接種人数は最大360人にも対応するほか、特に車椅子で移動される高齢の方などにも接種がスムーズに対応できたこと、また主要駅からのワクチンバス運行などにより、比較的短期間で多くの方に接種いただけたと考えています。また、令和3年夏から秋の一時期には済生会富田林病院やすばるホールもお借りして集団接種を実施しました。

これまで、令和3年春の1・2回目(当初)ワクチン接種が始まり、同年冬から3回目接種(第一期追加接種)に、令和4年夏前から4回目接種(第二期追加接種)も同時に進行し、9月末からは、オミクロン株対応ワクチン接種(令和4年秋開始接種)として実施してきました。また、集団接種体制に加え、本年秋からは各医療機関のご協力のもと、個別接種も実施いただき、皆様方のご協力によりワクチン接種の早期推進を図ってきました。

# ✳ 新型コロナウイルスワクチン集団接種

本市のワクチン接種の状況 令和4年11月22日時点【R3.3/R3.12未対象者数】

- \* **2回目接種者** (65歳以上) 32,248人(92.7%) [ 34,781人 ] [R3.3未対象者数]  
 (12-64歳) 55,309人(83.4%) [ 66,297人 ] //  
 全体 87,557人(86.6%) [101,078人] // (全国 80.4%、大阪府 76.4%)
- \* **3回目接種者** (65歳以上) 30,593人(87.8%) [ 34,837人 ] [R3.12未対象者数]  
 (12-64歳) 41,874人(63.7%) [ 65,717人 ] //  
 全体 72,467人(72.1%) [100,554人] // (全国 66.8%、大阪府 60.3%)
- \* **4回目接種者** 41,691人(41.5%) // (全国 37.6%、大阪府 31.4%)  
 [なお、4回目接種券発行者 71,091人に対する割合 58.6%]

1~4回目の接種は、大規模集団接種体制を基本にワクチン接種を推進したことで、全国平均や近隣他市に比べても高い接種率となり、このコロナ渦の中、ご本人も、ご家族等周りの方々も、より安心できる環境に役立ったものと考えます。

令和4年11月22日時点での本市のワクチン接種状況ですが、本市全体の2回目接種率は、86.6%(全国平均の全体では80.4%、大阪府平均は76.4%)、また、本市の3回目接種率は、72.1%(全国では66.8%、大阪府は60.3%)、4回目接種率(全体に対する接種率)は、41.5%(全国では37.6%、大阪府は31.4%)と、本市においては大規模集団接種体制を基本にワクチン接種を推進したことで、全国平均の全体の接種率や、特に大阪府の全体の接種率とも比較しても、本市の接種率は高くなっています。

# 買ってお得!地域のお店・事業者応援商品券



**目的**

新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受ける地域事業者及び市民の生活を支援するため、本市内に所存する商店等において共通して利用できるプレミアム付商品券を発行することにより、地域における消費を喚起し、もって地域経済の活性化を図ること。

**名称**

買ってお得!地域のお店・事業者応援商品券  
(1冊5,000円分を2,000円で販売【500円×10枚】)

**対象者**

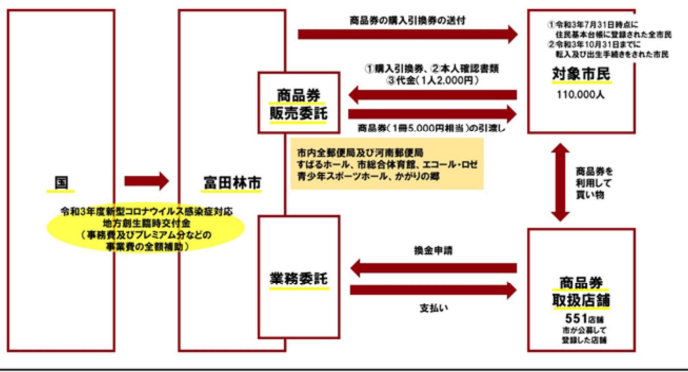
110,000人(1人1冊まで)  
 [・令和3年7月31日時点で住民基本台帳に記載された全市民  
 ・令和3年10月31日までの転入・出生手続き対象者]

**期間**

- ①購入引換券郵送
  - ▶ 令和3年8月16日より順次送付
- ②商品券販売期間(当初予定より期間変更)
  - ▶ 令和3年10月1日から12月12日まで
- ③商品券利用期間(当初予定より期間変更)
  - ▶ 令和3年10月1日から12月31日まで

買ってお得!  
地域のお店・事業者  
応援商品券

富田林市プレミアム付商品券事業の実施イメージ



※本事業の全体イメージは、右図をご参照ください。

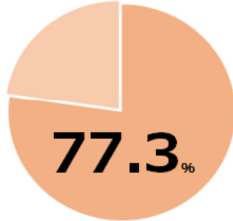
令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業として、富田林市プレミアム付商品券事業「買ってお得!地域のお店・事業者応援商品券」を実施しました。

本事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受ける地域事業者及び市民の生活を支援するため、本市内に所在する商店等において共通して利用できるプレミアム付商品券を発行することにより、地域における消費を喚起し、もって地域経済の活性化を図ることを目的としました。全市民1人1冊購入できる商品券として、1冊5,000円分の商品券を2,000円で販売し、令和3年10月1日から12月12日まで商品券の販売を行い、令和3年10月1日から12月31日までを商品券の利用期間としました。

# ✳ 買ってお得!地域のお店・事業者応援商品券

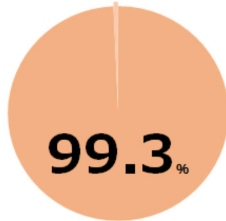


商品券販売率



85,050冊/110,000冊

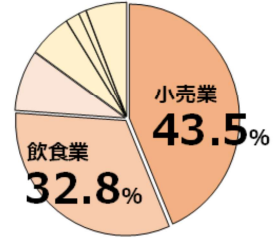
商品券流通金額に対する利用率



422,332,000円/425,250,000円

商品券取扱店舗登録状況 (業種別)	
小売業	240
飲食業	179
サービス業	48
理容・美容業	34
薬局	11
医院・歯科医院	6
その他	33
<b>合計</b>	<b>551</b>

商品券取扱店舗 (業種別)



【参考：過去の商品券取扱店舗数】  
令和元年度商品券事業306店舗、平成27年度商品券事業449店舗

- ◆ **購入された商品券の総額は、4億2,525万円**でした。商品券購入引換券が送付された者全員が満額5,000円分の商品券を購入していた場合、その発行総額は5億5,000万円であるが、**実際に購入された割合は、金額ベースで77.3%**でした。
- ◆ 購入された商品券のうち、**実際に店舗で利用されたのは4億2,233.2万円**、購入額4億2,525万円に対する利用率は**99.3%**となりました。
- ◆ 商品券取扱店舗の**最終登録店舗数は、551店舗**でした。令和元年度商品券事業306店舗、平成27年度商品券事業449店舗と比較しても、過去最高の店舗参加数だったことがわかります。

本事業の結果として、対象者全員が商品券を購入した場合の発行総額は5億5,000万円であるが、**実際に購入された発行総額は4億2,525万円**(全市民の内77.3%が購入)でした。そして、購入された商品券のうち、**実際に店舗で利用されたのは4億2,233.2万円**であり、発行総額4億2,525万円に対する利用率は**99.3%**となりました。

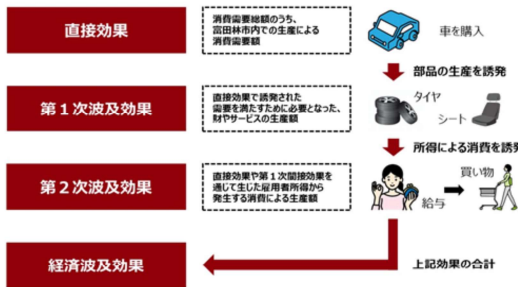
また、商品券取扱店舗の**最終登録店舗数は、551店舗**でした。令和元年度に実施した商品券事業306店舗、平成27年度に実施した商品券事業449店舗と比較しても、過去最高の店舗参加数だったことがわかります。



# ✳ 買ってお得!地域のお店・事業者応援商品券

本事業に伴う需要増加により誘発された生産活動や原材料の生産など、市内産業全体への効果を検証するために、大阪府の産業連関表を用いて経済波及効果を算出した結果、**事業全体の経済波及効果は約5.78億円**であることが分かりました。

## ▼経済波及効果のイメージ



## ▼本商品券事業の経済波及効果

項目	金額
直接効果額	4.02億円
第1次波及効果額	1.00億円
第2次波及効果額	0.77億円
<b>事業全体の経済波及効果額</b>	<b>5.78億円</b>

※本経済波及効果額は、大阪府産業連関表「[簡易版]経済波及効果推計ツール(2015年基本表,37部門)」を用いて算出したものです。  
 ※同経済波及効果推計ツールの計算で用いられる「民間消費支出」の比率は、大阪府民の平均的な支出比率として取り扱っています。  
 ※四捨五入の関係で、合計が一致しない箇所があります。

他自治体や内閣府の効果検証方法を参考に「新規消費喚起効果額」及び「経済波及効果額」を算出

本事業に伴う需要増加により誘発された生産活動や原材料の生産など、市内産業全体への効果を検証するために、大阪府の産業連関表(経済波及効果を算出・推計する際の基礎資料)を用いて経済波及効果を算出した結果、事業全体の経済波及効果は約5.78億円であることも分かりました。

当該事業の実施により、普段は市外で利用するサービスを商品券をきっかけに市内で利用された方や、「普段と異なる買い物」や「普段を越える買い物」をされたことによる新規の消費等によって、コロナ禍の影響を受けている市内事業者と、市民への効果的な支援につながったものと考えております。

# ＊ 自宅療養者等サポート事業

新型コロナウイルス感染症の陽性者となり、自宅療養をする市内在住の方をサポートし、市民生活の安定につなげます。

## ● 支援の内容

- ・食料品の提供

## ● 支援上の注意

- ・有症状者で親族などから支援を受けることが困難な方に限ります。
- ※セルフ検査で陽性判定となった方は陽性者登録センターへ登録していることが必要です。

## ● 支援の状況 ※令和3年4月22日から令和4年10月末日の累計

- ・感染予防用品、生活用品などの提供  
2,024世帯、3,333人

R3年4月22日～R4年1月12日の利用者は、17世帯、38人と少なかったが、第6波、第7派の影響により、R4年1～2月、及び7～9月の利用者が急増。  
※1～2月(462世帯、840人)、7～9月(1,179世帯、1,858人)。

## ■ 支援用品等

### 〔食料品〕

スポーツ飲料、野菜ジュース、パックご飯、レトルトカレー、レトルト丼、カップ味噌汁、レトルトおかゆ、カップ麺(うどん)、ゼリー飲料、缶詰(おかず・フルーツ)

※陽性者1人に対し1セット  
(3日分程度)

宅配業者を通じて配送

※R4年11月18日より、支援用品の内容を見直しました。



サポート事業専用ダイヤル TEL 0721-26-7059  
※受付時間：土・日曜日、祝日を除く、午前9時から午後5時

本市では、新型コロナウイルス感染症の陽性者として、保健所などから自宅療養を指示された市内在住の方に対し、感染予防用品、生活用品などを提供する等の自宅療養者等サポート事業を実施しています。

事業内容は、食料品として、緊急時に備えることができる、カップ麺やレトルトカレー、パックご飯など3日分程度を陽性者1人に対し1セット、日々生活に必要な生活用品は1世帯が数日程度使用できる分量を1セットとして、支援をしています。

お申込みをいただければ、宅配事業者を通じて、速やかに自宅までお届けしています。

また、ゴミ出し支援として、市職員が直接ゴミの引き取りを行う支援も行っています。

次にこれまでの支援件数ですが、令和3年4月22日の事業開始以降、令和4年10月末までの用品提供支援の累計は、2024世帯3333人です。

事業を開始した令和3年4月から1月12日までの支援件数は、17世帯38人でしたが、今年に入り、オミクロン株による第6波の影響により支援件数も急増しました。

この支援事業の対象者は、他の親族等から支援を受けることが困難なご家庭の中で陽性となられた方としています。

お困りの方がおられましたら、サポート事業専用ダイヤルにご相談ください。